



お台場学園だより



令和3年 3月号
港区立小中一貫教育校
お台場学園
〒135-0091 港区台場 1-1-5
小学校 03-5500-2572
中学校 03-5500-2575

「有終の美」を飾ろう

校長 熊木 崇

今年度も、残り1ヵ月となりました。振り返れば、新型コロナウイルス感染症への対応のため、学校生活にも様々な影響があった1年間でしたが、子供たちは、進学・進級に向けて、希望や期待が高まっていることと思います。

さて、年度末を迎え、子供たちには「有終の美」について話しています。「有終」とは、「終わりをまっとうすること、やり遂げること」の意味で、そのような姿が美しいとされていることから「終わりが素晴らしいこと、最後までやり遂げること」の意味になったようです。

そもそも「有終の美」は、「初めはやる気があるが、やみくもにやり遂げようと思っても、実際に最後までやり遂げるのは難しい。(やり遂げる人は少ない。）」という中国の詩に由来するそうです。

子供たちには、次のように話しました。「現在の学年が、間もなく終わろうとしています。自分で決めた目標やめあてを振り返ってみましょう。もし達成できていないと思うならば、最後まで、努力を続け、少しでも成長していきましょう。」

また、下級生のお手本になるという思いも大切にしてください。4月から進学・進級する際に、下級生が素晴らしい先輩のようになりたい、と思うような状況になれば、素晴らしい学校になっていきます。現在の学年の最後まで、目標に向かって努力を続け、下級生のお手本となるような「有終の美」を飾ってほしいと思います。」

年度末を迎えたこのタイミングで、お子さんと一緒に、今年度の成果と課題を振り返ってみるのはいかがでしょうか。大人も子供も関係なく、前向きに最後まで努力している姿は「美しい」ものだと思います。

ご家庭でも話題にしてみてください。

お台場学園は令和元年度からコミュニティ・スクール(学校運営協議会設置校)になりました。毎回の会議において貴重なご意見をいただき、教育活動の充実につなげています。

また、「地域コーディネーター(永山さん、間瀬さん、森島さん)」の活動も進めています。

お台場が、子供にとって「心のふるさと」になるよう、地域とともにある学校づくりを進めたいと考えております。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

多様性の尊重と思いやり

先月は、今年度3回目のふれあい月間でした。日常の友達とのかかわり方について、以下のような視点で、自身の生活を見直しました。

- ・自分の言葉や行動は、友達を傷つけていないか。
- ・自分の言葉や行動は、友達を元気付けたり励ましたりできているか。

多様性を尊重するとは、多様な個性・能力を生かして活躍する自立した人間になること。そして年齢・人種・障がいなど多様な生き方や考え方を尊重し合う共生社会をつくることです。

子ども達が人を大切にして、人からも大切にされて、安心して過ごせる学校生活を送っていけるよう教職員力を合わせて指導していきます。

生活指導主任 (小) 植木 絵美 (中) 森 徹

6年間の感謝を込めて

6年生のオープンスペースには、卒業までのカウントダウンカレンダーが飾られています。6年生62名が1人ずつ書いたものです。日に日に日数が少なくなるカレンダーにさみしさを感じつつも、そんな気持ちにしんみりと浸る間もなく、毎日忙しく学習や行事に取り組んでいます。

今年度は、たくさんの行事が無くなりましたが、できる形を模索し、学芸発表会や校外学習を行ってきました。6年生の1年間だけでなく、これまでの6年間頑張ってきた小学校生活を振り返り、支えてくれた方々に感謝の気持ちを伝えられるよう、3月も学校生活を送っていきます。卒業まで、残り20日間です。限りある時間を有効に使えるように、学年目標の『感謝』の姿勢を最後まで大切にしていきます。そして、4月からの新たなスタートに向けて、しっかりと力をつけていきたいと考えています。

(6学年担任 鳴井 史絵、田中 克弥)

義務教育修了 9年生

1年前、急に決まった休校。そして4月、2か月間の休校で、ほとんど学年で集まらない状態で新年度をスタートしました。担任としては、電話でのやり取りからスタートしたこの学年でした。運動会も中止、修学旅行も延期という中、この学年は皆明るく、前向きに学校生活を送り始めました。今まで通りできないことへの悔しさもあつたと思いますが、それを口には出さず、自分たちができるところに前向きに取り組み、学芸発表会では9年生らしい、学園の最高学年としての劇を作り上げることができました。

義務教育終了後の進路については、ほぼ決まっています。そして、13日からは京都・奈良への修学旅行が実施される予定です。この時期に修学旅行というのは本来難しいと思うのですが、この学年の生徒たちならば安全にかつ楽しく旅行ができると思います。この学年の最後の楽しみとして、修学旅行に行けることを願っています。

9年生の生徒たちは、あと1か月で義務教育を修了します。台場の町で、9年生の皆さんの高校等へ登校する姿が見られることを楽しみにしています。
(9学年主任 岸田 興治)

代表委員会より

今年度は例年と異なる状況の中、学校全体のために何ができるかみんなで意見を出し合って考えました。開校記念日には例年通り全校で集まるのが難しいため、リモートでの集会を企画し、運営しました。また、ふれあい週間では、人との関わりが制限される中、様々な学年と交流を深めたいという思いから、画用紙で作った花を他学年と交換する活動を企画しました。さらに、3学期は4、5年生が中心となり、3月6日に行う6年生を送る会の企画をしています。

残り一か月、クラスの代表として学校のためにできることを考えて活動していきます。

(代表委員会担当 鳴井史絵、内藤真由子、鈴木裕貴子)



生徒会より

お台場学園生徒会です。去る12月5日に港区子どもサミットが港区議会で開催され、子どもオリンピックパラリンピック特別委員会での討議では書記を担当し、赤坂中の生徒会の皆さんとともに議事進行の一役を担わせていただきました。

また、2月22日には、イギリスオリンピック協会(British Olympic Association)とのリモート会議に参加しました。今後は国内のブリティッシュスクールとも交流をしていく予定です。

3月8日におこなわれる9年生を送る会を企画し、他の委員会からの協力をいただいで準備をしています。

(生徒会担当 坂梨 知、築瀬 幸)

【3月の主な行事】

- | | |
|----------|-------------|
| ・2日(火) | 避難訓練 |
| ・4日(木) | 保護者会 |
| ・5日(金) | 卒業を祝う会(6年生) |
| ・6日(土) | 6年生を送る会 |
| ・10日(水) | 6年遠足 |
| ・19日(金) | 卒業式(中) |
| ・23日(火) | 給食終 |
| ・24日(水) | 卒業式(小) |
| ・25日(木) | 修了式 |
| ・26日(金) | 春季休業日 |
| ～4月5日(月) | |



【児童・生徒の活動】

<社会を明るくする運動作文コンテスト>

・東京都推進委員会委員長賞

6年 男子「声をかけることの大切さ」

・東京都保護司会連合会会長賞

6年 女子「支えることの大切さ」

<港区教育委員会表彰>

3年 女子

3年 男子

【スクールカウンセラー 相談曜日】

○青木 理恵子 火曜日(小学校)

○奥野 典子 金曜日(小・中学校)

○廣瀬 信慶 火曜日(中学校)

●小学校 03-5500-2572 ●中学校 03-5500-2575